

桂坂山の手倶楽部だより

創立20周年記念号

平成23年5月15発行

発行責任者 会長 八木 兵司



ごあいさつ

桂坂山の手倶楽部 会長 八木 兵司

新緑の映える清々しい季節を迎えておりますが、会員の皆様それぞれにお健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

この度の定例総会に於きまして会長を仰せつかりました第3倶楽部「ひいらぎ自治会」の八木兵司でございますが、これからの2年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度、当倶楽部は創立20周年を迎えました。伝統ある倶楽部の会長に就任することになり、その重責に身の引き締まる思いでおります。幸い、意欲ある多くの役員の方々が選ばれておりますので、これら役員の方々と力を合わせて倶楽部運営に当たって行きたいと思っております。

さて、平成4年4月に会員数約160名で創立されました当倶楽部は、この20年間に諸先輩の皆様方のご尽力により会員数が約260名余りに増えて現在も発展途上にあります。

そして、創立当初からの会員の方が現在40名近くも在籍されており、この中の多くの方々がお元気に同好会活動を続けておられます。このような状況の中で創立20周年記念事業を行う事が出来本当にうれしく思っております。

また、当倶楽部は同好会活動中心に運営されておりますが、設立当初8同好会だったのが、途中16の同好会が設立され（8同好会が休止）、現在16の同好会が活発な活動を行っております。同好会はその時々の方々の意向に沿って変化して行きますが、同好会活動が当倶楽部の中心ですのでこれからも倶楽部運営の重要な柱として位置付けることに致します。そして、可能な範囲で同好会活動を支援することにより、「シニアスポーツ」や「文化的趣味」の両面で会員の皆様の生活がより充実したものになるよう努力したいと思っております。

一方、当倶楽部として地域との連携も大切にして行く必要があります。桂坂小学校や自治連合会を初めとする地域の諸団体との連携をこれまで以上に大切にして行きたいと考えております。

同好会活動を中心とする我々の倶楽部は全体のまとまりと言い、それぞれの分野での活動レベルと言い、非常に素晴らしいものがあり、これらは地域の内外からも高い評価を受けております。

20周年を迎えたのを機に、これまでの伝統を大切にしながらこれらの充実した諸活動を通じて倶楽部の更なる発展を目指して行きたいと思っておりますので、会員の皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

終わりに、会員の皆様方のますますのご健勝をお祈りしてご挨拶とさせていただきます。



西京区老人クラブ連合会

会長 槇枝 正昭



桂坂山の手俱樂部創立20周年記念、誠におめでとうございます。

平素は、西京区老連の各行事にご協力ご参加を賜りありがとうございます。

平成4年に創立され今日まで発展してきたのは、桂坂山の手俱樂部独自のあらゆる企画と実行力によるものだと思います。他のクラブに無い人材力、60代の方が約60人、70代の方は約100人と活気溢れる俱樂部を、これからもご期待申し上げます。

クラブ活動は、魅力のあるサークル、楽しいサークルでなければなりません。楽しそうだな、一度、参加してみたいなと一般の高齢者から思われる活動内容にする必要があります。また、地域住民や一般の高齢者に見える活動、即ち老人クラブ活動の視覚化が大切だと思います。

老人クラブ活性化3ヶ年計画は22年6月に全老連が全国の老人クラブに示した方針です。方針の内容は、老人クラブの減少傾向を食い止め、現社会の要請に応えうる老人クラブにするべく提案されたものです。これからも、桂坂山の手俱樂部が西京区内の老人クラブのリーダー的存在として頑張っていたきたいと思います。

桂坂学区自治連合会

会長 菊池 潤治

このたび、山の手俱樂部創立20周年を迎えられ誠におめでとうございます。

1992年4月初代会長立野和之氏ら会員150余名にて発足された由ですが、現在は、八木兵司会長以下260余名と増えています。しっかりとした事務局を置き目的、運営方針等を明示し、高齢者の生き甲斐が確立されており敬意を表します。

特に地域の安全安心の活動では、小学校前で「朝の声掛け」や「子供見守隊活動」、伝統行事の継承では、「昔遊びの会」カキ餅の焼き方や風呂敷の包みかたのいろいろ等子供達に教えられています。また最近では、福祉の方と共に「ほっとラインの会」で高齢者家庭への一寸したお手伝いをして地域の助けあいに寄与されるなど本当に頼りになる存在感のある会だと感謝しています。

趣味の会では、昨秋、西文化会館で行われた西京区老人クラブ連合会主催の「文化芸能祭」に出席させていただきました。桂坂から出演されたコーラス、舞踏、カラオケ等すべてが一流ですばらしいものでした。更に作品の展示では、書、絵画、写真、俳句等、150点余が展示され西京区内最多の出展数で、その内容も芸術的に価値のある優秀作品ばかりの見事さでした。

皆様方のご健勝と、会の益々のご隆盛を祈念申し上げ挨拶とします。



初代会長 立野 和之 (平成4年4月～平成11年3月)

桂坂山の手倶楽部が発足して20年、皆さんほんとうに有難うございました。

平成3年、私が「ひいらぎ自治会」の会長の時、桂坂自治連合会の湯浅会長より桂坂地区に老人会を設けてほしいとの要請を受けました。二、三日して西京区洛西支所に出向き、重田室長と話合っていたら、重田室長も「ひいらぎ自治会」の会員で近所に住んで居られるとのことで、気持ちが楽になりました。すぐ室長から福祉事務所に電話して戴き、午後2時に事務所に来てほしいとのことで出向いたところ、西京区老人クラブ連合会の立川会長も来て居られ、立川会長より老人会の詳細な説明と、組織の有り方や老人会の会員は60歳以上等についてご指導を戴きました。



直ちに桂坂自治連合会に出向いて湯浅会長に報告し、会員の募集を要請されました。

また、各自治会に委員を設けて戴き、委員会で「桂坂山の手倶楽部」の会名を賛成して戴きました。この山の手倶楽部の「山の手」は神戸方面で使っていることを提案者から説明がありました。3ヶ月で会員の募集を締め切ったところ、第1倶楽部52名、第2倶楽部63名、第3倶楽部53名計168名の組織構成に委員会で決定されました。また、倶楽部の発足から同好会の講師の先生方のご尽力を未だに忘れずに感謝しております。

第2代会長 上久保 潤次郎 (平成11年4月～平成13年3月)



上久保潤次郎氏は1925年生まれ満85歳。平成11年4月、7年間の長期にわたった初代立野和之会長の後をうけて、山の手倶楽部第2代目会長に就任、2年間に在任し当倶楽部の発展に貢献されました。上久保氏は、生粋の土佐人「いごっそう」そのまま、豪放闊達な言動で山の手倶楽部の運営にあたられましたので、多くの会員から親しまれる一方、些細な誤解がもとで時にトラブルもあったとお聞きしました。

上久保氏の趣味は、農林業。愛宕山麓や滋賀県日野町に里山農場を経営され、新鮮な野菜やキノコなどを頂いた会員も多いようです。

また、歴史、宗教、芸術など日本の伝統文化全般に造詣が深く(特に般若心経)、氏の説法は、始まったら止まるところがないくらい。益々お元気で、まさに第二・第三の青春を謳歌されている上久保さん。今回の原稿依頼には、思い出話を書く、「他人のことに筆がすべる」ので“筆不精”で許してほしいとのことでした。(編集委員岡村記)

第3代会長 野口 修 (平成13年4月～平成14年3月)

会員数増加に伴い4単位倶楽部制に移行した時期ですが、野口会長は10周年事業を前に退任されました。

第4代会長 山本 昭 (平成14年4月～平成18年3月)

山本 昭氏は、初代事務局担当の木村義成氏の後任としてご活躍された後、野口 修氏の任期半ばの退任をうけて平成14年4月第4代会長に就任、体調を崩され平成18年3月、岡 頼男氏に後事を託され勇退されるまでの4年間、山の手倶楽部会長職にありました。

山本氏は、温厚な性格ながら、一つ一つの事象に対して真向から取り組む古武士の風格をお持ちの方です。この年代の方には珍しく?、資料はすべて自分でタイプなさる、高い事務能力をお持ちで、「山の手倶楽部だより」第1号の1ページを飾った創刊のことばがそれです。同第4号には、山の手倶楽部の誕生時の様子をまとめた、貴重な投稿もされました。



今回の思い出話の原稿は、都合により編集部でまとめさせていただきました。学徒動員で戦争体験もされた、昭和一人人間の代表のような山本さんの益々のご健勝をお祈りいたします。(編集委員岡村記)

第5代会長 岡 頼男 (平成18年5月～平成21年3月)

歴史と実績のある桂坂山の手倶楽部の会長をお引き受けしたのは、前会長山本昭さんが、病気のため役職を果たすことができなくなり、その残任期間と次年度の一期間の三年でした。



全国的に老人クラブの入会者が減少傾向にあった最中でした。私が一番申し上げたのは「和を以って、貴しとなす」と千年も前に説かれた聖徳太子の言葉です。「老人は仲良くしなけりゃいかん」助け合って支え合っていく事が一番大切な事だと思います。この事は、会合のある毎に申し上げました。

また、会員減少に歯止めをかけるには、どうすればよいのか？それには、同好会を増やすのが良いと言うことになって、同好会を増やす事に積極的に取り組みました。

皆さんのご協力を頂きまして、現在16もの同好会が活発に生き生きと活動し、それぞれが、自分の趣味に合った同好会に入っておられ、現在では徐々に会員数が増加している現状を見るとき嬉しく思います。桂坂山の手倶楽部は、同好会によって支えられている限り、益々繁栄の道をたどって行けると信じています。

第6代会長 乗本 政三 (平成21年4月～平成23年3月)

第6代の会長として2年間無事勤めさせていただきましたのは、皆様方のご協力、支えがあつてのことと厚くお礼申し上げます。また、山の手倶楽部創立20周年の節目の年に実行委員長として20周年記念式典を挙げてきましたことは本当に嬉しい限りでございます。

山の手倶楽部の会員260名余りで16の同好会(社会奉仕・教養・健康増進)の各分野で活動していますが、京都市の中でも組織としては大きい老人会であります。

私達は平成4年に設立されて以来先人の築かれた基盤を基にして活動を推進して参りました。会員はそれぞれ自分の趣味に合った同好会を楽しく人と人との繋がりを大切にして和やかに活動しておられることが健康にも繋がっていることと思います。

山の手倶楽部に入会して楽しいとおっしゃることが何よりうれしい限りです。

21年に会長になり、この広い桂坂で多くの方々とバスの中、スーパー・街角などでお会いし、私の顔を覚えて下さり挨拶される機会が多いことも嬉しいことです。

これからも地域の方々と輪を広げこの素晴らしい桂坂で、お互い助け合い、健康で楽しく暮らせることを願っています。山の手倶楽部の更なる発展をお祈りしております。



初代相談役 松尾 隆夫 (平成4年4月～平成6年3月)

何も無かった桂坂に、昭和63年4月かえで自治会が産声をあげました。以来、しらかば、さつき、あかしあ、ひいらぎ、つばき、ぼぷらと立て続けに自治会が出来ました。その中に各種団体が次から次に出来、老人倶楽部も創ろうということになり、平成4年4月26日に「山の手倶楽部」という名称で発足しました。メンバーは最初、各自治会役員で構成し会員勧誘、会則作り等を手分けして準備に入り、やっとの思いで発足にこぎつけました。

発足総会はまだふれあい会館も無い時で、桂坂小学校の多目的ホールをお借りして行いました。確か二回目は野鳥遊園が出来たところなので、野鳥遊園西側の芝生の上で行いました。もし雨が降ってきたら観鳥楼に避難することも念頭に、今なら考えられない総会でした。



当然、遊び、趣味主体の分科会(今の同好会)をいろいろ作ることが目的なので、「歩こう会」「写真」「書道」等がスタートし、各分科会で会場確保やコース選定等いろいろ苦労があったようです。「歩こう会」等はまだ全員が若かったせいか、正月三日の休みだけで真冬でも歩いていました。

新年会については、最初「歩こう会」がひいらぎ自治会館を借りて正月の残りものを持ち寄って始めました。これが何年か続いて平成10年になって倶楽部全体の互礼会に発展していきました。いろいろな経緯がありましたが、これまでの良き伝統を大切にしながらこれからも当倶楽部がますます発展していくことを期待しています。

小学校校歌の書より始まる しらかば 喜多 みどり

桂坂に入居して買物に不便なので「生協」に入りお近くの方5, 6人で共同購入が始まった。1週間に1度の購入日を決める時、その頃土曜日は元住んでいた山科で書塾を20年近くやっていたのでその旨を伝え土曜日ははずして頂いて山科に行っていた。

その事がきっかけで小学校PTAの方が5, 6人来られ「実は桂坂小学校の第1回卒業生が卒業記念として新しい校歌を四角の板に一字づつ彫るので元になるその字を、お願いしていた方が具合が悪くなったので急なことで2日程で書いてもらえないか、それでない卒業式迄に出来上がらない」と言われ、書塾をやっていると云った事を忘れていた私としてはビックリ！お願いに来られた方の切羽詰まった様子を見かねて、主人の助言もありお引き受けすることになった。



今も小学校の講堂に行き正面を見上げると私の書いた字を卒業生が一生懸命に彫った校歌が飾ってあり思い出してしまう。

それが縁になり、山の手倶楽部創立に際し何か手伝ってもらえる人ということ、書道同好会につながって行く。

桂坂では書道教室はやらないと決めていたのでお手伝いだけならと思って「しらかば自治会館」で書道の希望者の集まりに行ってみると大勢集まっておられ今後どうしたらよいか、どうしてほしいかをお聞きするつもりが、筆や硯まで持参して来られている方もあり、取りあえず書道同好会として一步を踏み出すことになった。

良かったのか悪かったのか、今もって反省の日々を過ごして20年（歲月不待人）経ちました。

コーラス同好会誕生のいきさつ しらかば 加藤 喜代子

コーラス同好会は、平成4年桂坂に山の手倶楽部が発足しましたが、以前より西京区老人クラブ連合会の催しとして毎年秋に芸能祭が開催されており“山の手倶楽部”も何か出演しなくては、と文化部担当の喜多みどり様から相談を受けました。そこで、女性のコーラスでも平成5年の春に急遽泥縄で二十数名が集まり、やさしい曲を数曲練習して第3回西京老連の芸能祭に間に合わせました。

その後も続けて練習したいという皆様のご要望で、平成6年の春、山の手倶楽部の総会で同好会の中にコーラス部として承認して頂く事になりました。



初めはひいらぎ自治会館をお借りして電子ピアノで練習を始めましたが、平成6年中信桂坂支店がセンター前に開店されてからは、この2階をお借りして第2と第4の木曜日午前10時から12時まで楽しく練習をしておりました。

浮世の憂いも忘れて、大きな声で無心に歌うことによってストレスの解消と共に体内の新陳代謝もよくなり、いつまでも元気で楽しく過ごすことが幸せであり喜びではないかと“文化芸能祭”“名月鑑賞の夕べ”桂坂自治連合会10周年等、いろいろと出演させていただきました。

平成16年の文化芸能祭まで十数年至らぬ中に一生懸命努めさせていただいた積もりですが、やはり寄る年波には勝てず体力気力も限界に達し退ぞかさせていただきました。

その後も皆様の楽しく歌っていらっしやるのを見聞きますと、羨ましいなあと思うこともありますが、今後は若い皆様で益々お勉強なさいましてご発展なされますようお祈りしております。

園芸分科会を顧りみて あかしあ 青井 勇

この度、20周年記念に際し分科会活動に貢献したと表彰をされましたが誠に恐縮を致しております。と言うの

も園芸の事を語るには木村義成氏を抜きには語れないからです。

木村氏は発起人でもあり、また玄人並みの人でした。私等はまったくの素人ですが初回から仲間に入れてもらっていました。会では持ち寄った植物の問題点を詳しく教えて頂いたり、季節毎の植物の参考資料をコピーして皆に配布したり年末には松竹梅の寄せ植えか、またはクリスマスに飾る物を作る材料の藤蓐、柳の枝、松ポックリ等を山に採りに行ったりして作り方を指導してくれました。春には花見で分科会以外の人迄誘って、足の不自由な人等には車で送り迎えをしていました。本当に良く世話をしてくれたと思います。



私はその様な木村氏の人柄にひかれて何時とはなしに助手の様な事をするようになりました。テレビの日曜園芸をビデオに撮ったり本を買ったりして興味を持つようになりました。何でも試してみないと気が済まない性格で挿芽や株分け、採り木等している間に苗が溜り会場に持って行って皆に持ち帰ってもらう様になりました。

この様な折り、平成17年6月に木村氏が急に亡くなられ、後をどうするかと言う事で続けましたが歳と共に段々出来なくなり、その後2年で已む無く解散する事になりました。

和気あいあいの楽しい分科会だったので残念でなりません。また何時か再開される事を願っております。

ふれあい

地域への貢献

★小学校「朝の声掛け運動」に参加して（平成23年2月第23号掲載）

恒例の桂坂小学校「朝の声掛け運動」が、1月7日より5日間行われた。

初日の天気は生憎小雪が舞い登校通路は2～3センチの雪が積もり、校門より望む西山の峰々は、真綿をかぶらせたように白一色の美しい風景であった。

小学校々門前に山の手倶楽部、地域女性会そしてPTAの方々が並び、その前を子供達が三三五五登校してくる。どの子供も白い息を吐きながら、「おはよう」「おはようございます」の音が飛び交った。8時10分頃が登校のピークで、ランドセルを揺らしながら、元気に校門に駆け込んでいった。8時30分過ぎには子供たちの姿は見えなくなり、あたりには静けさが戻った。



★桂坂小学校「昔遊びとぜんざいの会」に参加して（平成21年5月第16号掲載）

去る3月14日（土）桂坂小学校に於いて、小学校PTA、地域女性会、山の手倶楽部が合同で「昔遊びの会」が開催されました。

今年は新たに山の手倶楽部グラウンド・ゴルフ同好会の方々が小学生に教えてあげようと企画して下さったのに、生憎の雨で中止となり残念な事でした。

体育館でPTA主催の「子育てフォーラム」開催の間、女性会、山の手倶楽部の方々と小学生達が各教室に分かれ、羽根つき、新聞紙で作ったボールとバットでのバッティング、こま廻し、小倉百人一首、おはじき、ダルマ落とし、あやとり等楽しみました。回を重ねるにつれ子供達も昔遊びに馴染み、あやとり等で舌を巻くスピードで操る女の子もいて、私達に教えてくれる始末でした。



慌ただしい日常から離れ、ゆったりとした時を無邪気な子供達と仲良く過ごせた事は、楽しく有意義な一時でした。合わせてPTAの方々のお世話で「おぜんざいの席」、女性会の方々のご厚意で、「お茶席」にも楽しませて頂き昼過ぎに散会となりました。最後になりましたが企画して下さい下さった方々、お手伝いをお願いして快く出席して下さい下さった皆様に、厚くお礼申し上げます。

★桂坂小学校「放課後まなび教室」始まる（平成21年11月第18号掲載）

京都市は市内のほとんどの小学校で「放課後まなび教室」を開講しています。

この事業は学校教育活動とは別の事業として学校施設を活用して、保護者、地域の方々の参加を得て放課後子どもたちに学習の習慣づけを図り、自習的に学ぶ場、安心安全な居場所を充実するため開設されました。

桂坂小学校も開設に当たって校長よりスタッフの確保について、山の手倶楽部に協力要請がありました。当倶楽部も事業の一環として、子どもたちの安心と安全を守る運動を展開しているので、これを受けて合同会議で説明し、会員全員に協力を要請いたしました。

★カザラッカコンサートに出演して（平成20年11月第14号掲載）

今年度は、桂坂小学校設立二十周年をお祝いする場とも重なり、コンサートは世代の交流祭と音楽の集いで趣向を凝らした様々なイベントが盛り沢山ありました。山の手倶楽部同好会も音楽の出会いを通じて参加させて頂き、感動と勇気そして幸せを覚えると共に、思い出に残るコンサートになりました。まさにカザラッカコンサートは芸術の秋にふさわしい贈りものでもありました。大枝中学校の吹奏楽部の演奏は素晴らしく、いつまでも心に響き熱く心に感動を頂きました。

次は、今年度の集大成としてコーラス同好会の出演です。曲は歌よありがとうございます。四季のメドレー「懐かしい日本の春」です。一時の安らぎと心の癒しになればとの想いをこめて皆様に聴いて頂きました。桂坂小学校PTAと山の手倶楽部は今後共より以上の親交を深めたく思っております。ご尽力賜りました方々に厚くお礼申し上げます。



★野鳥遊園での作品展示について（平成20年2月第11号掲載）

平成19年7月より山の手倶楽部では、写真・俳句・水彩画・書道の各同好会がそれぞれ2ヵ月づつ作品を野鳥遊園に展示してまいりました。

変わり行く四季の美をとらえた写真、春夏秋冬のよろこびや隣れをうたった俳句、実物の様に鮮明に写生された水彩画。水茎の跡も美しい書道。一人々々の日頃の努力を展示する事が出来ました。

野鳥遊園の緑を楽しまれた方々にとって展示された作品がきっと印象に残った事と思います。



★「桂坂ほっとラインの会」本格始動する（平成20年11月第14号掲載）

8月より、お手伝いの依頼受付を開始致しております。8月、9月で4件のお手伝い依頼がありました。4件共受理し、お手伝いをさせて頂きました。ご依頼内容は、草抜き、植木の剪定、窓ふき、換気扇の清掃等でありました。

依頼者の方々は“今までは出来たことも、病気や加齢等で出来なくなって来ており、いつも大変気になっていました”とのこと。お手伝いが終わると、皆さん本当にほっとされていました。お手伝いに参加されたボランティアの方々も“もっともっとお手伝いをしたい”と声があがっていました。気にな　ること、困っていること等ありましたら、ご遠慮なく。

★「緑水会」活動がTV取材を受ける（平成19年8月第9号掲載）

本年5月27日（日）KBS京都、「京のまち」番組で桂坂緑水会のボランティア活動の様子が全市に放映されました。桂坂緑水会は平成18年5月京都市街路樹里親制度導入に呼応して、山の手倶楽部ゴルフ仲間を主体に結成しました。

京都市内の街路樹は約87万本、延長260Kmを市は年間約77億円をかけて維持管理しておりますが、落ち葉の清掃や除草など、きめ細かな手入れは



地域住民の協力が不可欠なのです。

桂坂には各本通りに計1300本を超す高木（ケヤキ、トチ、モミジバフウ等）と、車道側に約10万本のツツジ、サツキ等が四季おりおりに目を楽しませてくれています。私達は、本年3月にロータリー付近でツツジの補植4月同補植地周辺の草刈り、5月グミの雑木除去（TV放映）を行いました。

この活動を通じて、住民みずから行動すれば行政は応えてくれる協調の大切さを体得しました。現在、桂坂緑水会会員は14名です。M氏は80歳の高齢ですが、元気に楽しんで参加されておられます。我らの住む桂坂が誇れる街並みになることを目標に、これからも活動して参りますので、ご協力宜しくお願いいたします。

かつやく

市老連や区老連での活躍と互礼会及び親睦会

★同好会より市民すこやかフェアや文化芸能祭に出演（平成20年2月第11号掲載）

今年も第16回「市民すこやかフェア」が、9月1日と2日岡崎みやこメッセで開かれ、作品展、体力診断



コーナー、講演会等と盛りだくさんな行事が行われ、その一つとして会場内に特設舞台が設けられて各区代表によるコーラス発表会がありました。



今年は、女性部の推薦で桂坂山の山の手倶楽部コーラス同好会が西京区代表として出演し、今年から新調されたステージ衣裳に身を包み、若々しさを充分アピールして応援に来て下さった会員様共々会場を盛り上げました。

その一週間後の9月8日、西京区老連主催の「第17回文化芸能祭」がウエスティで午前10時から午後5時まで一日開催されました。

今年は、山の山の手倶楽部からは司会を川上英子さんが区老連のご指名で担当され、やわらかい声でスムーズに進行され、午前中新入会された竹田未葉子さんのグループによる津軽三味線の演奏があり、これは珍しいのと美しいので大好評でした。また午後には、誕生したばかりのカラオケ同好会から長谷川文彦さんと鹿取珠江さんが心にしみる歌声を披露、皆ウツトリでした。今年も番組のしめくり（取り）をコーラス同好が受持つこととなり2曲を歌い、その後会場のお客様と「千の風にのって」と「上を向いて歩こう」を大合唱、例年コーラスの頃には観客の方々は少なくなりガッカリしたのですが、今年はビックリ、皆様残って最後まで聞いて下さりペンライトを持って歌って居られ会場一体となった歌声は大成功でした。

★区老連主催のボウリング大会で活躍（20年2月第11号掲載）

12月10日（月）第2回西京区老連ボウリング大会に、山の山の手倶楽部ボウリング同好会より10名の方が出場されました。人気の高まりにつれ今回は参加者92名（初回80名）、エミナースボウリング場の16レーンをフルに使って熱戦が展開されました。

昨年、高木さん（かえで）の優勝で注目を集めた桂坂学区は、今回も期待に違わず第1倶楽部の田中健一さんが2ゲーム合計372点の抜群なスコアで優勝された他、高木さん、乗本さん、細谷さん、岡村さんらがベストセブンに入りました。高齢者間でもボウリングの愛好者は年々増えています。次回の大会で好成績を出すよう、これからもボウリング同好会の練習に身を入れたいと思っています。



★春の区老連グラウンド・ゴルフ大会開催 (22年8月第21号掲載)

梅雨の中休みの7月5日(月)嵐山東公園グラウンドで「第18回西京区老連主催グラウンド・ゴルフ大会」が開催(参加者165名)され、桂坂学区は、辻タカ枝さん(つばき)が女性の部8位に入賞されました。辻さんは、10月5日岩倉東グラウンドで開催される市老連グラウンド・ゴルフ大会に西京区代表(男女各10名)の一人として出場されます。

区老連体育委員長には、この4月、正式に田中健一(第1倶楽部会長)さんが就任されました。この大会も田中委員長の指導の下に、グラウンドの使用申込から飛び賞配布まで一連の大会運営業務を見直した上、マニュアル化することにより、各委員の役割分担をオープンかつ平準化し、大会を時間内にスムーズに終わらせるよう真剣な検討がなされました。

特に、順位確定に不可欠な「個人票の正確な記入」のために、「スコア記入者」を各学区から推薦願う等、時間短縮のための具体的な方策について全体育委員の協力が得られました。

このように万端の準備をしたつもりでも「天候」と「現実」は厳しい。5月24日・25日は豪雨のため延期、即嵐山東グラウンドの再申込みにも必死の走り。7月5日は、炎天下またしても終了時間が1時前になる始末。反省と改善はまだまだ始まったばかり。



★区老連囲碁・将棋大会で奮闘 (平成22年8月21号掲載)

区老連主催の囲碁・将棋大会が、6月12日ふれあい会館で開催され、当倶楽部から14名が参加されました。

当日は10時から3時までの熱戦の末、囲碁Aクラス優勝九野嘉寿さん、準優勝伊藤文夫さん、Bクラス準優勝細居修三さん、Cクラス優勝饗場重雄さん、3位佐久間皓雄さんらが表彰を受けました。

また、将棋Aクラスで中西さん、囲碁Dクラスで田中さんも活躍されましたが惜しくも優勝を逃されました。

優勝された九野さんと饗場さんは、8月20日市老連囲碁・将棋大会に西京区の代表として出場されます。健闘を祈っています。



★区老連ペタンク大会に参加 (平成22年11月22号掲載)

去る10月7日(木)、西京区老連若手委員会主催のペタンク大会が絶好のスポーツ日和の中、盛大に開催されました。西京区全体から130名余の選手が境谷公園グラウンドに集まり、まず、檜枝区老連会長、佐野若手委員長、来賓の西村市会議員の挨拶、山岸審判委員長のルール説明等の後、競技が8ブロックに分かれて開始されました。



我が桂坂学区からは、A、B、C3チームが参加し、それぞれ一投一投に熱のこもった試合展開を広げ、歓声があちこちで沸く熱戦の結果桂坂Aチーム(乗本政三さん、細谷修三さん、岡村英明さん)、同Bチーム(辻タカ枝さん、鹿取珠江さん、長谷川洋子さん)が3勝し見事なブロック優勝に輝きました。

桂坂Cチーム(田中健一さん、西村明さん、岡村重臣さん、長谷川文彦)は、善戦及ばず2勝1敗でした。この大会で特筆すべきことは、前に出場の桂坂Bチームの女性です。選手の皆さん大変お疲れさまでした。

なお、優勝されたどちらかのチームに、京都市老連ペタンク大会(11月)の出場依頼があるかもしれません。その時は、また頑張ってお賞されることを期待しています。

★区老連主催ウォーキング大会に参加 (平成22年11月22号掲載)

10月13日(水)恒例の「老人の日記念ウォーキング大会」が、15学区・180名(内桂坂学区16名)の皆さんが参加して、昨年と同じ小畑川堤防一帯で開催されました。

8時30分頃集合を終えた参加者は、定刻9時、楨枝会長の開会宣言の後、田中体育委員長の笛の合図で出発、隊列は伸びながらも途中休憩2回を経て、予定より早く11時前に、終着点エミナース裏小畑川堤防に全員無事到着し、記念撮影などの後解散しました。

帰宅後、歩き終えた快い満足感に包まれておりましたところへ、チリ落盤事故救出者のTVニュース。ともに、忘れられない一日となりました。

来年も開催されたら、今回と同じように元気に歩けるよう、足腰の鍛錬を続けたいと思いました。



★カラオケの集い開催 (平成22年2月第19号掲載)



西京区老連主催の「カラオケの集い」が去る11月14日ふれあい会館で開催され、当倶楽部からはカラオケ同好会より大森一枝さん、細谷修三さん、井上清之助さんらが出演されました。

当日は、立見席が出るほど予想を上回る来場者で、西京区の各老人会から40名の方が自慢ののどを披露され、盛大な拍手を受けておられました。

なかでも、山の手倶楽部のお三方は、情感あふれた演歌の心を唄われ、こぶしのきいた節廻しは群を抜き、会場一杯の観衆がし〜んと静まり返りました。

さぞかし、今日に合わせて特訓されたのでしょうか。

★平成22年新年互礼会開催 (平成22年2月第19号掲載)

寒波ながら好天に恵まれた1月11日(成人の日)午後1時から、トラ年の新年互礼会が、ふれあい会館大枝の間で開催されました。会場は90名の参加者で一杯になりました。

会は乗本会長の新年挨拶に続き松本副会長の乾杯の発声で始まり、ゲスト出演の谷龍彦とトゥエンティスターズの



皆さんのハーモニカ吹奏に合わせて「故郷」や「青い山脈」を合唱の後、全員参加でジャンケンゲームとビンゴゲームで盛り上がり、午後3時過ぎ田中副会長の中締めの言葉で閉会となりました。

その後は、有志によるカラオケを楽しみました。

全員椅子席をセットの上、お祝酒を寄贈して下さいましたふれあい会館様はじめ互礼会開催にご協力下さった



皆様、有難うございました。

なお、この新年互礼会には、プログラムの合間に表彰者のご披露、同好会のPR、歳女・歳男のご紹介などをおりませで、より楽しく時間を過ごして頂く段取りでいましたが、司会者の力不足で、ご出席の皆様にかえてご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

★合同作品展開催 (平成21年2月第15号掲載)

今年度の作品展は、桂坂自治連合会の20周年記念事業の一環として「地域女性会」と「社会福祉協議会」との共催でふれあい会館で開催されました。予算も自治連合会から30万円の助成金を頂きましたので、当倶楽部からの出費は必要ありませんでした。

出展内容は、従来どおり書、絵画、俳句、写真、手工芸、盆栽等で、「地域女性会」と合わせて全体では、出展者人数は120名余り、作品数は200点余りと例年よりかなり多く出展されて盛大な作品展となりました。



ご来場頂きました皆様の人数も、芳名簿に記載頂いた方の人数だけでも300名近くで、招待状をお送りした60名余りの方の内半数以上の方のご来場を頂きました。

今回の作品展は、上記3団体の共催と言うことで、事前に準備のための関係者で会合を重ねましたが、主に当倶楽部が中心になって取り組



んできました。途中若干の手違い等はありませんでしたが、3団体の協力体制はほぼ順調に進行し、これら3団体間の関係も親密さが深まるという効果も得られたように思われます。

展示された作品の内容では、当倶楽部は同好会活動の成果を発表するのがメインのため整然とした展示が行われたのに対して、「地域女性会」の方は個人で作成した作品が中心でバラエティに富んだ展示となり対照的な展示となりました。

また、「地域女性会」はお茶席を準備したり、バザーを開いたり幅のある活動も行いました。一方、「社会福祉協議会」の展示は、活動内容を発表する写真が中心でやや趣が異なっていました。このように統一は取れていませんでしたが、これら3団体が協力し合って、それぞれの活動内容を一堂に集めて紹介したということ、そのことに大きな意義があったと思われま

そしていま

山の手倶楽部の16の同好会は活躍しています

歩こう会

歩こう同好会は、香りの花公園から毎日2Kmを30分で歩いています。

香りの花公園に会員が集い、「おはよう」の挨拶で電波時計に合わせて、定刻におもむろに歩き出します。各自の歩調で談話をしながら、時には山の辺公園から大枝中学校の山の斜面に鹿や猪を見る事もあります。

足腰の弱ってくる年齢、いつまでも無理をせず、会員の親睦と歩く楽しみを感じながら、健康の保持、特にメタボ対策も図りたいと思っています。(会員の中には、歩き始めた頃体重が70kgあったが数年歩くことで、60kgまで順調に下がった人もいます) 出発時間は葵祭りから朝6時30分、時代祭りから7時に出発します。但し、祇園祭～大文字、クリスマス～ひな祭の間はお休み。

4月に花見付き歩こう会、12月に日文研「赤おに」での忘年会が年中行事となっています。



書道

書道同好会の定例会は、ふれあい会館第2、3研修室にて、月2回通常第1、3木曜日の午前10時～12時に行っています。

第1回目は、会費の支払いと、月刊誌「文化書道」を購入し、皆さんが揃えば「おはようございます」で始まります。その後は「文化書道」に掲載された、2ヶ月前の成績を探す人、ホワイトボードに掲示の競書課題「手本」のコピーを申し込む人、前回の「手本」を参考に、又は任意で書いた



作品を、先生に見て頂く人、お隣と雑談する人、委員も会費、冊子代の徴収、チェック「手本」のコピー作業及び配布等で大忙し、最後に先生が皆さんに次回提出する作品の要点を水書紙に示されて終了します。

しかし、これからが本番、自宅に持ち帰った「文化書道」の競書課題の何点かを、2週間後の第2回目迄に「手本」他を参考に複数仕上げます。

第2回目は、やはり「おはようございます」から始まります。まずは、各自持参の何点かの複数作品を先生に選考して頂き、(問題点を指摘されます)内1枚を委員が種類別に区分け整理して、先生が東京にある文化書道に送付され、結果(成績)は2ヶ月後の「文化書道」に発表されます。他に、①ホワイトボードに掲示の「中国古書・手本」を希望者にコピーをお渡しします。②今年は5、6月に野鳥遊園に掲示する作品の書体を「隸書」として、皆さんに「手本」が渡されています。書いて来られた方は、先生に判定して頂きます。以上で終了します。

コーラス

山の手倶楽部の結成から2年遅れて発足したコーラス同好会は、18年の長い歴史の積み重ね

があり、現在30数名が、月2回のレッスンを楽んでいます。

会員の中には、発足当初からの方もおられ、高齢化が進んでいます。若い方の入会が特に望まれるところです。

発表の場は、年に2~3回程あります。会員が揃いの衣装で、若々しく日頃の練習の成果を披露します。

西京区老連の芸能文化祭では、いつもトリを取り会場の皆様と共にフィナーレを飾ります。また今年は、京都市老連の市民すくやかフェアにも出演する予定です。例年のように、カザラッカコンサートにも出演を予定しています。

しかし、何と言っても年に一度の懇親会は、みんなの楽しみです。毎年、昨年とは違った料理店へ行くのが、一番の楽しみです。今年は、若い世話役の方が張り切っておられるので、従来の殻を破った活力のある会に発展するんじゃないかと期待しています。入会されたい方、興味のある方は一度レッスンを見に来て下さい。第2、第4木曜日の午前中、中信の2階で行っています。



謡曲

平成6年の春、今は亡き藤田弘一さんより謡曲と一緒に習いませんかと強い勧誘を受けたが初めて習うこと故、初めて習う人達を集めていただけたらやりますよと逃げたつもりが、後日集めたらと言われ、今更いやと言えず指定の日にふれあい会館に行ったところ、10名ほど集まって

おりよく集めたものだと感心しました。

講師は原田義雄先生で、新人のみ故“鶴亀”より教えていただきました。3年の後、先生病気のため辞められ次の講師として佐橋元男先生を藤田さんより紹介うけ平成11年より現在に至る10年余指導を受けております。

奥の深い謡曲のため、まだまだ勉強しなければなりません、現在まで教えて頂いた回数は九番習、準九番習の隅田川、鉢木、弱法師、松風等を含め124曲になりました。今後共謡曲に精進してゆく所存です。



俳句

陰暦三月を如月といい、語源の一説に、草木のあら物の萌える事、動き出す月の事です。

「陰暦三月」何となく身ほりが明るくなって来ます。

俳句をやってよかった事、それは、季節の移り変りに敏感になり、自然からいろいろ教えを授かり、季語はいつの間にか身について来ました。

山の手句友も、月一回の定例会をふれあい会館の一室で楽しんでおります。暖かくなれば、花の下を散策しながら吟行句会を企画しております。



囲碁・将棋

囲碁・将棋同好会は、当倶楽部創立と時を同じく分科会として、ひいらぎ自治会館で活動をはじめたようです。その後、ふれあい会館に場所を移したのですが、阪神大震災で被災者の受け入れから会場を追われ、一時新林会館にお世話になりました。

これがご縁で洛西の人達と交流が始まり、いつの間にか遠方から仲間を探してお越しになるようになりました。

私達も洛西の老人福祉センターの「楽朗会」に出向き桂坂の棋力を発揮しています。

同好会は、毎週月曜日午後ふれあい会館で定例会を持っていますが、将棋のメンバーが少なくて困っています。

囲碁は5～6級から6段位まで揃い、その棋力は西京区で一目置かれています。囲碁は頭のスポーツだと言われていますが、一尺五寸の碁盤をはさんだ無言の会話なのです。ところが、ここでは、冗談を言ったりからかったりして賑やかなことです。それでも、中盤になると真剣な眼差しで勝負の行方を見つめています。勝ち負けが二転三転します。メンバー17名が結構楽しくやっています。



写真

写真同好会の平成23年度の年間行事は、定例会を6回(4, 6, 8, 10, 1, 2月)、撮影会を5回(5, 7, 9, 11, 3月)忘年会を12月に開催します。



定例会は、ふれあい会館第3研修室にて午後1時半に始まり(日と曜日は事前通知)各会員の作品を順に展示、今年度から講師になっていただいた、会員でもある大西功氏の感想、問題点の指摘、指導等をいただき、皆さんにも積極的なご意見ご感想を発言していただきながら、休憩も入れて、わいわいがやがやと時間(4時30分)が来るまで過ごします。

撮影会は、従来京都市内を主にした場所で開催して来ましたが、全般に参加者が少なく担当者を悩ませていました。原因は開催日・場所もその一因ですが、主因は場所までの距離にありましたので、(今後の検討課題としますが)

今年度は参加しやすい近場「桂坂」を主とした西京区としました。普段見慣れた街並み、公園の花、風景等もカメラ枠で見れば見落としていた新しい発見があり、これが写真技術の向上にもつながります。

他に、7月～8月の2ヶ月間、野鳥遊園展示コーナーに作品を展示しますので是非ご覧ください。

ゴルフ

ゴルフ同好会の活動については、活動報告にある通り年5回の競技会を開催しております。競技会一試合平均参加数は36名ぐらいであり、4名一組とし9組～10組ぐらいで競技を行います。競技会ごとに組み合わせを変えることでいろいろな方とプレーを出来る楽しみもあります。

ゴルフ競技に各自ハンディキャップがあり、ストロークが悪くても上位に入賞出来るという楽しみもあります。その他に、飛賞、ニヤピン賞、ドラコン賞、特別賞等があり、競技後の表彰も楽しいものであります。

ゴルフ同好会はお陰さまで会員も多くなり、これからも楽しいゴルフ競技会であるようやっと思いこうと思っています。

競技会を開始するについては約2ヶ月前にエントリーをするのですが、一番の心配は当日の天候の事です。毎回雨が降らないよう天気のお祈りをしております。



グラウンド・ゴルフ

平成22年度グラウンド・ゴルフ同好会は、定例ゲーム（月10回程度）に加え春と秋の遠征会や市、区老連主催及び体振関係の大会に参加して和気藹藹と楽しくゲーム行っています。

夏には同好会発足以来初めての試みとして、京都市立西支援学校から要請で生徒にグラウンド・ゴルフを指導してほしいと依頼があり、学校の先生と何度も打合せを行い実施しました。生徒との交流は非常に有意義な時を過ごしました。

今後も継続してほしいとの希望があり、同好会としても継続する考えでいます。



ボウリング

桂坂山の手倶楽部ボウリング同好会は、山の手会員かえで内藤邦昭氏のご尽力で会員18名が参加、平成16年8月26日に発足しました。

翌17年、常時20名前後のボウリング愛好者で構成、エミナスボウルを舞台に運営されています。

平成18年12月14日、ボウリングに造詣の深い喜多秀雄区老連副会長の肝いりで、第1回区老連主催のボウリング大会が開催され、高木紀子氏（かえで）が優勝、以来、昨年暮れの第5回大会まで桂坂学区が優勝者を独占する快挙を成し遂げました。

この「連続5連覇」の勝因は、なんとといっても練習量は少ないながら「連続の効果」がある、同好会活動にあると思います。

これからも、同好会の目的である「ボウリングゲームを楽しみながら健康の保持・増進を図る」一方、できれば今年末の第6回ボウリング大会にも優勝して“桂坂7連覇”に希望を託したいと思います。会員皆様のご精進を大いに期待しています。



社交ダンス

平成16年の秋に発足し6年の月日が流れました。生まれたばかりの赤ちゃんが、小学生に成長したのです。

ひいらぎ自治会の藤井勇さんの指導のもとにスタートし、生徒も年ごとに成長しヨチヨチ歩きから、今では外部の講師（女性の先生）に指導して頂いて、中級以上のファイガーを取得しています。

社交ダンスは、男性と女性がペアで踊るスポーツである為に、男女の会員が同数なのが望ましいのですが、男性が少なく桂坂以外の方に、応援に来てもらっているが現状です。

年に2度のフォーメーション出場・西京区老連・京都市老連のダンスパーティー他のクラブのダンスパーティーにも参加し、楽しく生き生きと踊っている会員が大勢います。

桂坂の同好会だけでは、なかなか上達しないので、週に1~2回、他の教室でレッスンしている方も多くいます。

あわすグラウンドホテルでの一泊ダンス旅行とか、丹波篠山グラウンドホテルでの日帰りダンス旅行。また、年末ダンスパーティーなど、楽しかった思い出が次々と思いだされます。

甘い優しい音楽に乗って、素敵男性に身をまかせ、きれいな衣装を身に纏い華やかに踊る。それが社交ダンスです。

貴方も貴女も社交ダンスを是非習いませんか。社交ダンス同好会は毎週水曜日の午前中レッスンしています。

貴方の人生を豊かにする社交ダンス、是非入会をお勧めします。



マージャン

最近、新聞やテレビでよく見掛けます。老人対策として高齢者の老化の防止のため“飲まない、吸わない、賭けない”をモットとした健康麻雀が注目され、当同好会でも、この3ないマージャンを実践しています。

少し頭の体操として、指先を使ってワイワイがやがや雑談を交えて楽しんでいます。席を替え年1回の大会を開催していますが、たまには京都をはなれた一泊旅行の計画では、会員の皆さんから観光を兼ねた種々のプランが出てきます。国士無双をテンパッタような企画をしたいと思っています。



絵画

絵画同好会は園 章先生（けやき）の熱心なご指導を得て5年目に入ろうとしています。絵具、絵筆、画用紙等の画材道具を共同購入する事から同好会活動が始まり、毎月2回火曜日10時～12時、ふれあい会館で行っています。机4脚を組み合わせて1ブロックとしA、B、C、Dの4グループを作り、各グループごとにその日の教材になるモチーフを先生がセッティングして下さいます。まず各自カードを引いてどのグループのどの席に座ればよいかをカードで決めます。

これは絵を描く上で大事な光の具合や、モチーフの好みや、難易さ等が公平になるように、また、毎回違った人とお隣の席になり親しくなる事で同好会の輪をより深めようとしているものです。先生が用意して下さいするモチーフは、ある時は帽子とマフラーだったり、果物だったり、季節の花だったり毎回楽しみです。が、しかし美しいものばかりではなく、時にはあえて花や葉の萎れた草花や、泥のついた長靴、土のついたままの野菜であったりもします。それを「見たままを素直に描きなさい」「絵具を塗りたくって色を濁さない様に描きなさい」と、また最近では質感の出し方、襷の陰影、バックの描き方で主体の絵が如何に引き立つか等段々と高度な事を教えて頂いて居ります。



試行錯誤しながら制作に熱中しているとあっという間に2時間が過ぎてしまいます。作品展や野鳥遊園への出展に際しては、こうして描き上げた絵の中から各自2、3枚の絵を持ち寄り先生に同好会全体の調和を考えて作品を選んで頂いております。そして、作品展の打ち上げの懇親会は毎年楽しみな催しで、22年度は渡月亭で嵐山の紅葉を愛でつつ美味しい京料理と談笑とで楽しいひと時を過ごし絵画同好会のより一層の親睦を深めました。

カラオケ

創部5年目を迎えます。当初は何も解らずとまどいました。何名の方が集まるのか、練習場所をどこにするのか、いろいろ悩みましたが会員の皆様の温かい御理解と御協力により何とか形になってきました。まだまだ改善をする必要があると思いますが発足当初から“楽しく、愉快地、仲良く”をモットーに進んでおります。これからも、これを“生きがい”にやっといこうと思っています。会員数も少し増加傾向です。声を出すことが健康の秘訣です。大いに歌って楽しく歳を取りましょう。



ハイキング

ハイキング同好会は、歩こう会で毎日香りの花公園を出発し、2kmを30分で桂坂を歩いています。足を延ばして桂坂以外を歩いてみてはと言う要望があり、新たに同好会を19年9月に発足させました。

第1回、2回は足慣らしのため、桂坂小学校より細谷公園、野鳥遊園、ふれあいの里、天蓋公園、かりん公園、イズミヤのコースを廻りました。次回より区老連ウォーキングに参加、続いて洛西ニュータウンから大原野神社

より桂坂へ、嵐山松尾方面から山越えし桂坂へ、区老連ウォーキングに参加、長岡勝竜寺よりサントリー工場見学（ビール試飲）、大原三千院散策、六地藏より伏見桃山城、嵐山亀山公園より大河内山荘、清滝へ紅葉狩り、愛宕山へ登山、山科疎水めぐり等々。各コース共昼食時、持ち寄ったビール酒等で数時間楽しんでいます。



コースを決定する前に必ず委員数名で下見に行っています。会員にとって無理はないか、コース内にトイレが何ヶ所あるか、階段は多くないか、時間的にどうか等。交通費も出来る限り費用がかからないよう敬老乗車証を使って市バス、地下鉄等活用して行けるコースを決めます。

今後も健康保持、自己管理の為にも会員が楽しく安心して行けるコースを決めて行きたいと思っております。

ペタンク

南フランスで約100年前に生まれ、今や国際的なスポーツとなってきた「ペタンク」が、創立20周年を迎えた山の手倶楽部16番目の同好会として我が桂坂にも誕生しました。

桂坂では、数年前からペタンクに興味を持った一部の山の手倶楽部会員が、桂坂UPD（西村勇司会長）に入会して練習や試合に出ていましたが、区老連主催のペタンク大会が開催されるなど、“ペタンク人気”の高まりに呼応して、ここまで育てて頂いた桂坂UPDの皆さんに感謝しながら、山の手倶楽部自前の同好会設立となったものです。



ペタンクは、重さ7～800グラムの鉄球を6～10メートルの範囲内の目標ビュットに投げ、ビュットに最も近い球より内側にある球の数だけ得点を重ね、先に13点を取ったチームが勝つ。

同じルールの、氷上で石を滑らせるカーリングに比べ、「年齢、性別、体力に関係なく楽しめる」スポーツとして、今後、全国津々浦々で愛好家が増える見込みです。桂坂山の手倶楽部ペタンク同好会では、当面ペタンク競技の基本動作習得に主眼をおいた練習を重ね、対外試合に備えたいと考えています。

祝 創立20周年記念式典

創立20周年を迎え、この4月16日ふれあい会館第1研修室で記念式典が開催されました。

当日は式典にふさわしい快晴のなか、榎枝西京区老人クラブ連合会々長、菊池潤治桂坂学区自治連合会々長のご臨席をいただき、会員120余名の列席のなか午前11時30分開始されました。



岡村英明実行委員の司会で、創立20周年記念事業実行委員長乗本政三より、この20年間ご尽力いただいた役員、地域委員、同好会の責任者、加えて会員の皆さんのご理解とご協力に謝意を述べ、また、当倶楽部の発展にご支援いただいた、西京区老人クラブ連合会並びに自治連合会に敬意を表しました。



その後、榎枝会長、菊池会長よりご祝辞をいただき、社団法人京都市老人クラブ連合会佛円清会長の祝電がご披露がなされました。



“続いて次の方々が表彰されました”

- 最長寿者表彰 沢村 糸 さん (創立当初から会員として在籍され、現在も最高齢の名誉会員としてご健在)
- 功 勞 表 彰 立野 和之 さん (倶楽部創立のために中心となってご活躍頂き、初代会長として当倶楽部の礎を構築)
- 功 績 表 彰 喜多みどり さん (創立当初より書道同好会の講師として 20 年間に亘り、現在もご活躍中)
〃 青井 勇 さん (創立当初より園芸同好会のお世話を 16 年間に亘り担当する他、作品展の開催等にも多大なご功績を残し、現在もご活躍中)
〃 福田 敏子 さん (平成 6 年より 17 年までの 12 年間に亘り一筆画同好会の講師としてご活躍)
〃 加藤喜代子 さん (平成 6 年より 16 年までの 11 年間に亘りコーラス同好会の講師としてご活躍)
- 永年勤続表彰 山本 昭 さん (平成 8 年より 17 年までの 10 年間に亘り、事務局や会長として当倶楽部の発展に寄与)
〃 世木 俊一 さん (創立当初より平成 14 年までの 11 年間に亘り、会計担当としてご活躍)
〃 松本 初次 さん (平成 11 年より 22 年までの 11 年間に亘り役員としてご活躍され、現在も副会長等でご活躍中)



受彰者を代表して、立野和之氏（ひいらぎ）からご挨拶がありました。

また、写真右側の沢村 糸さんは、昨年白寿を迎えられたそうです。私達もあやかりたいものだと思います。 式典は盛会裡に 12 時 30 分過ぎ終えました。

尚、今回の表彰者の選考に際して創立からの現在までの 20 年間のご活躍振りを総合して判断することにした為に、原則として 10 年以上ご活躍された方（ご健在の方）を対象者と致しました。その為に、創立当初に大変なご苦勞頂いた方や途中でご逝去された方、それに途中から同好会の講師や責任者等でご活躍されている会員の皆様が選考から漏れていることをお許し願います。

私達の倶楽部が創立から 20 年経った現在発展途上にあるのは、今回表彰された方々は勿論ですがその他にも多くの会員の皆様の献身的なご活躍のお陰であることを、会員全員で確認しておきたいと思います。



祝 創立 20 周年 記念 祝賀 会

式典に続き、ご来賓のお二方と120余名の会員は大枝の間に移り、創立20周年記念祝賀会が12時30分盛大に開宴されました。



長谷川文彦実行委員の司会で、乗本政三実行委員長の挨拶に続いて謡曲同好会の皆さんで「観世流、田村」が披露されました。

乾杯は、元会長上久保潤次郎氏の発声で全員が高らかに杯を交わしました。



乾杯の後は皆さんの談笑。この20年間の思い出の話、平成4年4月26日忘れもしない桂坂小学校での設立総会、初代会長立野和之氏や初代相談役松尾隆夫氏のご苦勞、陰になり日向になり分科会を支えていただいた今は亡き木村義成氏、この20年間講師として同好会で指導をしていただいた喜多みどりさん、また長きに亘って講師をしていただいている安楽つねみさんや園 章さんありがとうございます。との会話が聞かれました。

宴もたけなわ、男性諸氏に好評のフラダンス、嘘でも良いから一度はビンゴと言いたいビンゴゲーム、最後に司会者より東日本大震災の被災者への義援金協力のお礼を述べ、全員で「上を向いて歩こう」を合唱して閉宴となりました。



これから予定されている記念行事

9月 3日 (土)	20周年記念講演会	ふれあい会館で
9月19日 (月)	名誉会員と食事会	ふれあい会館の予定
11月19日 (土)	20周年記念ハイキング	行先は未定

編集後記

この記念号編集に当たり、祝辞を寄せていただいた榎枝正昭会長、菊池潤治会長並びに下記に列記する方々や過去の広報誌に寄稿していただいた皆さんありがとうございました。記念号を発行するに当たり、そのご協力にお名前を記して感謝申し上げます。

立野和之、岡 頼男、乗本政三、松尾隆夫、喜多みどり、加藤喜代子、青井 勇、安楽つねみ、八木兵司、田中健一、内田圭子、山岡左知子、青山正男、徳光俊二、岡村英明、松本初次、中口利秋、阪本 健、細居修三、橋本浩季
西井征一、長谷川文彦、佐久間佳寿子、野田照代 (写真撮影) 順不同、敬称略 広報誌編集委員一同

(参考資料)

桂坂山の手倶楽部歴代役員一覧表

(平成4年度の記録はありません)

	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
会 長	立野 和之	立野 和之	立野 和之	立野 和之	立野 和之	立野 和之
副 会 長	酒井 厚 中西 潔	酒井 厚 中西 潔	酒井 厚 中西 潔	酒井 厚 中西 潔	細居 修三 中西 潔 山本 昭	細居 修三 中西 潔 山本 昭
会 計	世木 俊一	世木 俊一	世木 俊一	世木 俊一	世木 俊一	世木 俊一
庶 務	松本 昭子 木村 義成 細谷ハツエ 喜多みどり 日比野美代子 藤井 京一	松本 昭子 木村 義成 金澤マサ子 宮崎れい子 藤井 京一 金子侑久子	松本 正二 木村 義成 青井トラエ 尾上 幸子 藤井 京一 金子侑久子	木村 義成 青井トラエ 尾上 幸子 藤井 京一 松本 正二 金子侑久子 山本 昭	湯浅ミシマ 細谷 修三 大路 繁男 尾上 幸子 松本 正二 松本 昭子 橋本 広子	湯浅ミシマ 細谷 修三 山下 一郎 大路 繁男 尾上 幸子 松本 昭子 橋本 広子
監 査	田畑 昭三	田畑 昭三	田畑 昭三	細居 修三	山下 一郎	松本 正二
相 談 役	松尾 隆夫				酒井 厚	酒井 厚

	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
会 長	上久保潤次郎	上久保潤次郎	野口 修	山本 昭	山本 昭	山本 昭
副 会 長	細居 修三 中西 潔 松本 正二	細居 修三 中西 潔 松本 正二	阪本 健 世木 俊一 山本 昭	阪本 健 世木 俊一 八木 兵司	阪本 健 永富 進 八木 兵司	阪本 健 永富 進 八木 兵司
会 計	世木 俊一	世木 俊一	世木 俊一	世木 俊一	永富 進	永富 進
庶 務	山本 昭 細谷 修三 酒井 厚 塩見 睦子 松本 初次 木村喜代子 西本 博 尾上 幸子 辻 タカ枝	山本 昭 細谷 修三 酒井 厚 塩見 睦子 松本 初次 木村喜代子 西本 博 山岡佐知子 辻 タカ枝	米倉 英彦 田畑 佳子 喜多みどり 吉田 光子 川口チエ子 八木 兵司 大森 一枝 細谷ハツエ 松本 初次 早川 芳孝 辻 タカ枝	米倉 英彦 田畑 佳子 喜多みどり 吉田 光子 加藤喜代子 松本 昭子 大森 一枝 細谷ハツエ 松本 初次 早川 芳孝 辻 タカ枝	米倉 英彦 橋本 浩季 塩見 睦子 谷 龍彦 木村 義成 佐久間佳寿子 松本 昭子 大森 一枝 細谷ハツエ 松本 初次 岡 頼男	米倉 英彦 橋本 浩季 塩見 睦子 谷 龍彦 木村 義成 佐久間佳寿子 松本 昭子 大森 一枝 細谷ハツエ 松本 初次 岡 頼男
監 査	糀田 博	糀田 博	橋本 浩季	橋本 浩季	糀田 博	糀田 博

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
会 長	山本 昭	岡 頼男	岡 頼男	岡 頼男	乗本 政三	乗本 政三
副 会 長	細谷 修三 永富 進 八木 兵司	細谷 修三 乗本 政三 八木 兵司	田中 健一 乗本 政三 八木 兵司	田中 健一 乗本 政三 八木 兵司	田中 健一 松本 初次 八木 兵司	田中 健一 松本 初次 八木 兵司
会 計	永富 進	乗本 政三	乗本 政三	乗本 政三	西澤 四郎	西澤 四郎
庶 務	米倉 英彦 橋本 浩季 塩見 睦子 乗本 政三 川上 英子 佐久間佳寿子 松本 昭子 内田 圭子 高橋 俊樹 山下カツ子 辻 タカ枝	米倉 英彦 橋本 浩季 塩見 睦子 西澤 四郎 川上 英子 佐久間佳寿子 松本 昭子 内田 圭子 高橋 俊樹 松本 初次 辻 タカ枝	中口 利秋 高木 紀子 加藤 元子 西澤 四郎 喜多みどり 安楽つねみ 松本 正二 内田 圭子 松本 初次 岡村 英明 辻 タカ枝	中口 利秋 高木 紀子 加藤 元子 西澤 四郎 喜多みどり 安楽つねみ 松本 正二 内田 圭子 松本 初次 岡村 英明 辻 タカ枝	中口 利秋 高木 紀子 加藤 元子 長谷川文彦 安楽つねみ 足立 郁男 内田 圭子 岡村 英明 辻 タカ枝 伊藤 光男	中口 利秋 高木 紀子 加藤 元子 長谷川文彦 安楽つねみ 足立 郁男 内田 圭子 岡村 英明 辻 タカ枝 伊藤 光男
監 査	岡 頼男	岡村 英明	青木 和之	青木 和之	園 章	園 章
相 談 役		山本 昭				

	H5年度	H6年度	H7年度	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度
史跡巡り	荒牧 隆	藤田弘一	藤田弘一	藤田弘一	藤田弘一	松本初次	松本初次	松本初次	松本初次
園 芸	松本正二	松本正二	松本正二	藤井京一	細谷修三	松本初次	松本初次	松本初次	松本初次
歩こう会	喜多康雄	喜多康雄	大路繁男	大路繁男	大路繁男	大路繁男	喜多康雄	喜多康雄	喜多康雄
健康教室	細居修三	細居修三							
ゲートB	平本清市	平本清市	平本清市	平本清市	平本清市	平本清市	小林隆祐	小林隆祐	小林隆祐
囲碁将棋	西本 博	西本 博	西本 博	西本 博	上久保	上久保	上久保	上久保	上久保
書 道	森 富子	森 富子	森 富子	森 富子	森 富子	森 富子	橋本廣子	橋本廣子	橋本廣子
一 筆 画		佐野孝子	栗山昌子	立野美佐子	立野美佐子	立野美佐子	立野美佐子	立野美佐子	立野美佐子
写 真	松尾隆夫	松尾隆夫	青井 勇	青井 勇	永富 進	永富 進	永富 進	越當秀雄	畑 久栄
コーラス		加藤喜代子	加藤喜代子	加藤喜代子	加藤喜代子	加藤喜代子	加藤喜代子	加藤喜代子	川上英子
G・G			山本 昭	山本 昭	山本 昭	木下一郎	国島久夫	岡 頼男	岡 頼男
女 性 部	西村つや子	西村つや子	青井トラエ	松本昭子	大路たき	大路たき	松本昭子		
謡 曲				藤田弘一	藤田弘一	藤田弘一	藤田弘一	藤田弘一	細居修三
手編教室				山本さと子	山本さと子	山本さと子			
旅 行						藤田弘一	藤田弘一	藤田弘一	中西 潔
ゴルフ							永富 進	永富 進	永富 進

(参考資料) 桂坂山の手倶楽部分科会・同好会の責任者一覧表 (平成4年度の記録はありません)

	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
史跡巡り	松本初次	松本初次	松本初次	松本初次					
園 芸	松本初次	松本初次	松本初次	松本初次	松本初次	松本初次			
歩こう会	喜多康雄	喜多みどり	喜多みどり	喜多みどり	喜多みどり	中口利秋	中口利秋	中口利秋	中口利秋
ゲートB	小林隆祐	木村清子	木村清子						
囲碁将棋	上久保	矢部邦昭	矢部邦昭	上久保	上久保	上久保	上久保	上久保	上久保
書 道	橋本廣子	橋本廣子	橋本廣子	橋本廣子	橋本廣子	阪本 健	阪本 健	阪本 健	阪本 健
一 筆 画	立野美佐子	立野美佐子	立野美佐子	立野美佐子					
写 真	畑 久栄	岡 頼男	岡 頼男	岡 頼男	阪本 健	越當秀雄	阪本 健	阪本 健	阪本 健
コーラス	川上英子	川上英子	川上英子	岩川 弘	川上英子	川上英子	川上英子	谷 龍彦	谷 龍彦
G・G	松本正二	松本正二	田中健一	田中健一	伊藤光男	伊藤光男	青山正男	青山正男	西井征一
謡 曲	細居修三	細居修三	細居修三	細居修三	細居修三	細居修三	細居修三	細居修三	細居修三
旅 行	中西 潔	中西 潔	木村喜代子	木村喜代子	木村喜代子				
ゴルフ	永富 進	永富 進	永富 進	永富 進	橋本浩季	橋本浩季	橋本浩季	橋本浩季	橋本浩季
俳 句			吉田光子	青井トラエ	田畑圭子	田畑圭子	丹羽節子	丹羽節子	木村律子
ボウリン				内藤邦昭	内藤邦昭	岡村英明	岡村英明	岡村英明	岡村英明
社交ダン				藤井 勇	岡 頼男	岡 頼男	岡 頼男	岡 頼男	青山正男
日帰り探					松本初次	松本初次	木村喜代子	木村喜代子	木村喜代子
カラオケ						長谷川文彦	長谷川文彦	長谷川文彦	長谷川文彦
麻 雀						乗本政三	乗本政三	松本初次	松本初次
絵 画						佐久間	佐久間	佐久間	佐久間

ハイキン								中口利秋	中口利秋
------	--	--	--	--	--	--	--	------	------